

2月の主な行事
 6日 バラ園育成管理作業
 7,8日 県立高校特色選抜入試
 17日 1,2年生あゆみ診断テスト

<教育目標> 自律 自啓 自尊 他尊

東雲

<http://kanuma-school.ed.jp/j-higashi/>

【発行者】
 栃木県鹿沼市立東中学校
 住所 鹿沼市府中町393
 電話 0289-62-7225
 FAX 0289-62-7226
 校長 齋藤美智雄

新年を迎えて

校長 齋藤美智雄

私の家の近くに大きな木蓮の木があります。つぼみの時は銀色の毛で覆われ、春には白く大きな花が咲き誇ります。木蓮のつぼみの先は必ず北を向くので、登山者が山中で方向を失った時などに方向を把握するコンパス（方位磁針）の役をするそうです。ですから「コンパス・フラワー」と呼ばれています。



でもなぜ、つぼみの先は北を向くのでしょうか？それは、つぼみの陽のよく当たる南側がよく成長して膨らむので、それに伴いつぼみの先端が北側を向いていくのだそうです。陽の光を受けながら懸命に生きようとする命の証として、つぼみの先を北に向けているとも言えるでしょう。

今の季節、多くの樹木は、葉も落ち、寒さの中でたたずんでいます。しかし、冬の間も確実に少しずつ成長しているのです。年輪を一つずつ増やしながから、春に芽を出すために、寒さにじっと耐えています。

これは人にも同じことが言えます。冬は学習はもちろんのこと、部活動などでも基礎づくりをしつかりする時期です。知識や技術のみならず、体力面、心の面でも力を蓄え、成長する時期です。

ただ、成長するという点で違つのは、人間は何もしないでたたずんでいるだけでは

成長しない、伸びないということです。努力を怠らないことが、大きな成果を上げることにつながります。

春には、今より一段上の成長したステージにいるようにするためには、この3学期にいかにか努力し、力をつけるかが大切です。「冬、樹は育つ」と言い換えれば「冬、人は育つ」ということです。

令和4年もスタートしました。

一人一人が努力し、未来を拓くために、励まし合つて大きく成長できればと思います。

3学期も、保護者の皆様、地域の皆様と力を合わせて、教職員一同、精一杯取り組んでいきたいと思ひます。学校の教育活動への御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

学びを止めない

3学期の始業式は、現在のコロナウイルスの感染状況から、ICTを使った映像配信で実施しました。

昨年十月頃は、心配していた感染者数が激減し、修学旅行をはじめとする学校行事が実施できました。このままコロナウイルス感染症に怯える日々から解放されると思つた方も多いのではないかと思います。

また3学期は短い学期ですが、3年生にとつては進路選択の重要な時期であり、1、2年生にとつても1年間の学習の総まとめや次の学年への進級準備の重要な時期です。残念なことに感染者数が、全国的に増加しています。現在の学びを止めないためにも、再度気持ちを引き締め、これまで行つてきた感染症対策を継続するよう、御理解と御協力をお願いいたします。

教頭

1年生 授業参観

十二月八日（水）に、今年度3回目の授業参観・学年懇談を実施しました。

授業参観では、教科担任の授業を参観していただきました。学年懇談会では、2学期の生活や学習の様子、2年生になるにあたり今から進めるべきことについて、お話しさせていただきました。

その後、「ダイヤモンド・ユカイ」氏の講演会の様子や、自然生活体験学習の子供たちの様子の写真のスライドショーを行いました。沢山の写真から、多くの生徒が笑顔で生き生きと活動をしている様子を見ていただけたことと思ひます。

お忙しい中、御参加いただき、ありがとうございました。

第一学年主任

2年生 授業参観

十二月九日（木）の授業参観は、合同会社ロジカルキッドの下田太一氏を講師としてお迎えし、「親子学び合い事業」ネット時代の歩き方講習会」を開催しました。

インターネットが普及し、中学生にとつてもスマートフォン利用が当たり前になっている現代では、どのように情報と向き合つかを自分で考え、発信と受信のいずれの立場でも、情報の先にいる相手を忘れないことが大切であることをお話しいただきました。

情報によって伝えられる内容は十年前と今とは大きく変化していますが、人間の行動は基本的に変わつておらず、問題に向



事務室から・・・毎月一五日が学校集金の引き落とし日になります。

き合い解決する力をつけることが求められることを、生徒たちがより深く考えられた講習会となりました。
第二学年主任

租税教室

3年生を対象に、十二月十日(金)、関東信越税理士会鹿沼支部より税理士の大塚様と石田様から「租税教室」の講話をいただきました。税の種類や課税方法について、丁寧に分かりやすい説明を聞きました。



【生徒の感想】
・税というと、今まで良いイメージはもっていなかったが、私たちの生活にとっても大切なもの、そして、私たちの教育にも多くの税金が使われていることに驚いた。

・「税が無い世界」の動画を視聴し、今の生活は国民の税が支えていることを改めて知ることが出来た。大人になったとき、税の大切さを思い出し、しっかりと納税していきたい。
社会科主任

表彰式

十二月二十三日(木)に、第三回表彰式を行いました。今回はコロナ感染症の影響で新入大会が実施できなかったため、文化系の受賞者が中心となりました。感染症予防のため、大会室で表彰者のみ参加での実施となりましたが、一人一人が受賞の喜びを噛みしめ、真剣に取り組んでいました。また、鹿沼



市東部台地区の篤行善行表彰も併せて行いました。3年生たちの、どこか誇らしげな表情が印象的でした。引き続き、東中生の活躍に御期待ください。
表彰式担当

本校の人権教育

「世界人権デー」を御存知でしょうか？
1948年に国連で「世界人権宣言」が採択され、1950年に、十二月十日が「世界人権デー」と定められました。これを受け、日本では、十二月四日、十日を「人権週間」として、人権について考える取り組みが始まりました。

本校では、十二月六日(月)～十日(金)を人権強調週間とし、普段の生活を振り返り、思いやりをもって生活できるように様々な取り組みを行いました。その一つが「人権の花運動」です。この活動では、生徒一人一人が「クラスメイトの温かいエピソード」を花に見立てた紙に書き入れ、クラスに掲示した「人権の木」に貼り付けました。

この他「スマホ安全教室」を十一月二十九日(月)に、「性の多様性についての人権講話」を十二月十日(金)に行いました。生徒の講話を聞いている様子はとても真剣で、深い学びにつながることができたように思われます。

また、この運動を通して、いつも何気なく使う言葉を再確認する場を作り、自尊他尊の気持ちが行動となって表れている様子が伝わってきました。約2週間、周りの人を思いやる場面を作ることができたので、心の成長にもつながったようでした。

お互いの良いところに注目し、今まで以上の温かい雰囲気の中で



級や学校を目指していきたいと思えます。
人権教育担当

キャリア教育と進路指導

年明け早々私立高校の受験が行われ、すでに結果が発表されている学校もあります。3年生は様々な思いを抱えている学校もあります。2月には県立高校特色選抜入試が行われます。希望者は、志願理由書を作成し、面接や作文等の練習が本格的に始まります。特色選抜入試は自分の強みを活かして受験に臨むものです。1、2年生の進路学習を通しての自己理解を活かし、面接や作文を頑張ってください。

また、3年生に限らず、「今の自分は人生の通過点にいる」という意識をもつことは進路決定においてとても大切なことです。毎日の教科学習や学級での人間関係作り、家庭での様々な会話の中に、今後の人生に関わる情報のかけらがあり、そのかけらを集めながら成長を続けることがキャリア学習です。生き方を学ぶことが大切な学習となっています。保護者の方々におかれましては、お子様の成長を見守り、時折人生の先輩として助言をお願いしたいと思います。最後に、1年生は中堅学年となる心づもりをする。2年生は受験に向かうための基礎学力を付け、各高校等の情報を集める。3年生は新しい環境で自分らしさを発揮できる準備を進める。これらを意識し、自分の進路実現に向け頑張ってください。
進路指導主事



